使用済み昇華転写紙についてのお願い

昇華性インクで印刷された使用済み転写紙が、カバンや靴の詰物(緩衝材)として使用されています。こうした転写紙は、**製紙原料には使用できません**ので、 古紙には絶対に混ぜないでください。

使用済み昇華転写紙が古紙(製紙原料) に混入すると製品(白板紙などの再生紙) に大きなトラブルが発生し、お客様や関係者に大変なご迷惑をおかけすることになります。昇華転写紙は、<mark>焼却処理またはサーマルリサイクル</mark>するようお願いします。判定方法を知りたい方は、下記にお問い合わせ下さい。

問合せ先

公益財団法人古紙再生促進センター 〒104-0042 東京都中央区入船 3 丁目 10 番 9 号 IE:03-3537-6822 <u>http://www.prpc.or.jp/</u>





使用済み昇華転写紙

昇華性インクを使用して絵柄やデザインを転写したカーテン、カーペット、壁紙などが普及しています。 インクジェットプリンターで転写紙に絵柄を印刷し、約200℃の熱を加えて製品に転写します。転写工程 で昇華性インクが100%製品に転写することはなく、転写紙にインクが残ります。これを使用済み昇華転 写紙と呼んでいます。

事業所や家庭から古紙を回収する廃棄物処理業者や資源回収業者の皆様には、使用済み昇華転写紙が古紙に混入しないようお願いします。

混入によるトラブル

昇華転写紙が古紙に混入すると、写真のような欠点となって現れます。A4 サイズ 1 枚の昇華転写紙が混入すると約 100 トンの損紙が発生します。これまで製紙工場で、大量の白板紙が損紙として処理されています。

昇華性インクは常温でも転写します。 詰物(緩衝材)として使用されると、時間の経過とともに商品(カバンや靴など)に転写することがあります。



紙箱用白板紙に現れた欠点







布地に転写したインク

こんなことに注意

カバンや靴などの形状を保つための詰物として使用済み昇華転写 紙が使用されています。

昇華性インクが転写した後の紙なので、柄の色が薄く(沈んだ色) になっています。

当初は、大型スーパーのイベント会場や特設会場で短期間販売される製品に使用されていましたが、最近ではスーパーのテナントや一般店舗から排出されるケースが増えています。

消費者が製品を購入した後は、家庭から排出されます。



袋詰めされた昇華転写紙

古紙ヤードで発見された昇華転写紙





雑がみとして排出された昇華転写紙



雑誌・雑がみなどに混ざって古紙問屋に搬入されると発見が難しくなります。<mark>排出段階での除去</mark>が必要です。

詰物に使われた昇華転写紙



カバンの詰物として使用された昇華転写紙



白い紙に包まれた昇華転写紙



カバンの詰物として使用された昇華転写紙



裏文字の昇華転写紙